


# いわきを拠点にするヴィルトゥス・クワルテットメンバー×ピアニスト・白石光隆さん 音楽の都 オーストリア・ウィーンで活躍した大作曲家の調べを辿る演奏会

タイトル	いわき室内楽協会コンサート 2017/2018 <第17回>ピアノ四重奏の調べ ～シリーズ♪アリオスで愉しむアンサンブル⑤	
内容	いわき室内楽協会と共同主催によるクラシック音楽の演奏会／福島県いわき市を拠点に全国で活躍する、弦楽四重奏 ヴィルトゥス・クワルテットのメンバーに、名門ジュリアード音楽院出身で全国的に活躍するピアニスト白石光隆さんを迎えた4名による、ピアノ四重奏の演奏会。200席のいわきアリオス音楽小ホールという親密な空間で、定期的に室内楽をお楽しみいただくシリーズ「アリオスで愉しむアンサンブル」、2017年度の第1回を、モーツァルトとベートーヴェン、ブラームスの名演で彩ります。	
開催日時・会場	2017.6/2(金) 19:00 開演 いわき芸術文化交流館アリオス 別館1階 音楽小ホール	
チケットについて	料金	全席指定 4,500円 学生 2,500円 ※車いす席あり ※年齢制限なし ※4回券・2回券については、いわき室内楽協会(鈴木) 0246-36-3350 までお問合せください
	発売開始	2016.2/26(日)10:00～ ※初日は電話・WEBのみの受付
	ご予約	アリオステキケットセンター 0246-22-5800(10:00～20:00 毎週火曜定休)
	お問合せ	いわきアリオス WEB サイト <a href="http://iwaki-alios.jp">http://iwaki-alios.jp</a>

「シリーズ♪アリオスで愉しむ室内楽」とは	「シリーズ♪アリオスで愉しむアンサンブル」は、2016年度より始まったシリーズです。質の高い室内楽コンサートを開催することで、そこに集う人たちが緩やかな「文化縁」によるつながりを保てる場をつくります。また、いわきの方たちに、生活の中に「生でコンサートを聴く」という要素を新たに受け入れ、クオリティ・オブ・ライフの向上に寄与することを目指しています。
企画詳細 セールスポイント	 <p>今回のコンサートでは、オーストリア・ウィーンで活躍した3人の大作曲家(モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームス)に焦点をあて、弦楽器とピアノが織りなす室内楽の妙をお楽しみいただきます。</p> <p>プログラムは神童モーツァルトが、友人の出版業者ホフマイスターの依頼により書いた〈ピアノ四重奏曲第1番〉でスタート。厳格な形式で書かれた弦楽アンサンブルによる伴奏の上を、ピアノが華やかに駆け回ります。2曲目は、ベートーヴェンの〈弦楽三重奏曲のためのセレナード〉。各楽器に高度な技巧を要求しながらも、当時大人気だったセレナード形式を採用し、優雅な旋律と各楽章の性格付けが絶妙な対比を持つ佳曲です。</p> <p>メインには、ブラームスの〈ピアノ四重奏曲第1番〉を。ここでは弦楽器群は完全にピアノと対等の位置づけで、それぞれの特性を発揮します。抑制された暗い情感を、終楽章で爆発的に解放させる圧倒的迫力はライブ演奏ならではの、このメンバーだからこそ引き出すことのできる、巨匠がつくりだした名曲の真髄を、ぜひ会場でご堪能ください。</p>
曲目	モーツァルト:ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 K.478    ベートーヴェン:弦楽三重奏のためのセレナード op.8 ブラームス:ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 op.25
出演者 プロフィール *印=ヴィルトゥス・クワルテットメンバー	<p>三上 亮(ヴァイオリン) * 水戸市生まれ。東京藝術大学を首席で卒業し、アメリカとスイス・ローザンヌに留学。日本音楽コンクール第2位、ストラディヴァリウス・コンクール第2位など、受賞歴多数。2007年帰国、2011年まで札幌交響楽団コンサートマスターを務めたほか、東京藝術大学非常勤講師、日本音楽コンクール審査員などを歴任。また、各地のオーケストラのゲストコンサートマスターとして招かれている。</p> <p>馬淵昌子(ヴィオラ) * 大阪生まれ。桐朋学園大卒、パリ国立高等音楽院大学院でブルーノ・パスキエ氏に師事。ミュンヘン国際音楽コンクール・ヴィオラ部門第3位、イタリア・パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール第3位など、受賞歴多数。サイトウ・キネン・オーケストラ、紀尾井シフォニエッタ東京、アンサンブル・ベガ、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアなどのメンバーやソロ、室内楽で活躍。</p> <p>丸山泰雄(チェロ) * 仙台市生まれ。東京藝術大学卒業後、イタリア、ドイツで学ぶ。日本音楽コンクール第1位をはじめ、多くのコンクールで上位入賞。チェロの可能性を広げるコンサートを次々と企画・出演する一方、わが国主要オーケストラの客演首席奏者も務める。紀尾井シフォニエッタ、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア(首席)メンバー、及びいわき市を拠点に活動するヴィルトゥス・クワルテット、スーパー・チェロ・アンサンブル・トウキョウのリーダー。</p> <p>白石光隆(ピアノ) 東京藝術大学、同大学院を経て、ジュリアード音楽院へ進む。90年ジーナ・バッカウアー国際奨学金コンクール入賞。91年、リソカーンセンターでジュリアード・オーケストラと協演。92年に帰国し、94年、第63回日本音楽コンクール声楽部門において木下賞(共演)を受賞。ソロ、室内楽、協奏曲等、音楽性の高さには定評があり、内外の共演者の信頼も厚い。NHK-FMなどにも多数出演。(一財)地域創造の活動で全国を巡り、子どもたちへの教育プログラムにも積極的に取り組む他、後進の指導やさまざまなコンクールの審査員も務め、毎年定期的に東京でソロ・リサイタルも開催、CDも多数リリースしている。現在、東京藝術大学・お茶の水女子大学非常勤講師。</p> <p>*ヴィルトゥス・クワルテットチェロ奏者の丸山泰雄と福島県いわき市のいわき芸術文化交流館「アリオス」の共同プロデュースにより、同館を拠点として活動を開始。地域との音楽を通じた交流を大切に、毎年2回いわき市内各所での数日間にわたる公開リハーサルや弦楽アンサンブル・ワークショップ、小・中学校や病院、高齢者福祉施設などへの訪問演奏と、アリオスでの定期演奏会を組み合わせた活動を行う。2010年からは東京、仙台でも公演を行う。2013年4月、いわき市で市民有志とともに「いわき室内楽協会」を立ち上げ、年に数回の室内楽公演を開催している。</p>
名義	主催:いわき芸術文化交流館アリオス    いわき室内楽協会